

# にこる通信



平成 31 年 3 月 9 日発行

春なお浅く、朝夕はまだまだ冷え込みが厳しい今日この頃ですが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、誠にありがとうございます。

「よつば・にこる」は、3月1日から4年目に突入しました。これも偏に、数ある放課後等デイサービスの中から「よつば・にこる」を選び、利用して下さる皆様と、「よつば・にこる」の活動に携わって下さる皆様あってのことです。本当にありがとうございます。未だ至らずご迷惑をおかけすることもあります。より安心安全で、未来に希望の持てるような放課後等デイサービスを目指していきますので、今後ともよろしくお願い致します。



さて、先日「くるら DAY③」として、「お子さまの『いま』と『みらい』をお話ししましょう！」というテーマで、保護者の皆様にお話をする機会をいただきました。ご参加の皆様、お忙しい中、足をお運びくださり誠にありがとうございました。また、今回は参加に至らなかった皆様ともお話をする場を設けさせていただけたらと思います。

普段の送迎時のご挨拶や連絡帳でのやりとりだけでは、なかなかお伝えすることができなかったような内容のお話を2つのパートに分けてお話させていただきました。まずは、よつば・にこる施設長の小柳より「みらい編」ということで「就労や就職」、「非認知能力」についてのお話、それから「いま編」ということで、指導員の鈴木より「ボディイメージの発達」「活動プログラム」についてのお話です。就労や就職の現状を踏まえ、どういった力が必要になるのか、また、その力を身につけるために、「よつば・にこる」では、どのような考えに基づき、どのような支援を行っているのかについてお伝えさせていただきました。

ありがたいことに、参加されたお母様から「先のことをここまで考えてくれて、さらにそのことを見据えた支援をしてくれる『よつば・にこる』に通えるうちの子は幸せだ」とのお言葉を頂戴しました。そのお言葉に驕ることなく、今後もそういう放課後等デイサービスであり続けなければなりませんし、さらにレベルアップし続けることで、「よつば・にこる」をご利用して下さる皆様への感謝の気持ちを還元していきたいです。

子育てをしていく中で、保護者の方には「困り感」や「不安」がつきものです。「いま」抱えている「困り感」や「みらい」を考えた時の「不安」、そのようなものを少しでも解消できるきっかけになれば、と思います。

今回のテーマのようなお話や世間話を、皆様とともに気軽にできる、「ふらっと立ち寄れる放課後等デイサービス『よつば・にこる』」でありたいです。

# 2月の活動プログラム プレイバック

## 2/16(土)「行ってみよう！はままつアー♪」

にこるとして、浜松初上陸です！

1回目となる今回は「うなぎパイ ファクトリー」を訪れました。「うなぎパイ ファクトリー」は作業場を上から一望できるので作業全体を追うことができ、商品の流れがわかって、見ていてとても楽しいですし、その動きに癒やされます。

そして、お土産にうなぎパイをもらい、にこにこるんるんでした♪

浜松までの長い時間の移動も全く苦にすることなく、車での外出時のお約束もしっかり守り、守れなさそうなお子さまがいれば、お子さま同士で優しく伝えあったりする姿は、本当に感動します。時には、ケンカもありますが、大人がしっかりと様子を見つつ、適切に介入し、フォローをすれば、それはそれでとても大切なことですよね。



## 2/23(土)「そうだ！だちょうカフェに行こう！」

にこるで2回目となる、静波にあるダチョウ牧場の中のカフェ「つなぐ」さんに行きました。今回は、保護者の方も参加してください、お弁当やパフェを注文したり、「つみきのそのさん」を招いたり、いつもと違う環境での外出プログラムは、本当に楽しかったです！

お子さまたちがのびのび遊んでいる姿を眺めながら、保護者の方々といつも以上に密に話すことができ、充実した時間を過ごすことができました。

「つなぐ」さんにはおいしい食べ物があり、芝生の上で思う存分遊ぶことができ、また、海にも近く、潮の香りや波の音、目の前にパーッと広がる景色に触れることができるので、適度な感覚刺激を得られる最高の場所ではないでしょうか。日頃、スマホなど過剰な刺激に囲まれている生活を送ることが不可欠な現代ですから、そのような最高の場所で毎回自由に遊ばせてもらい、本当にありがたいです。

にこるのお子さまたちも「つなぐ」さんで遊ぶときが一番イキイキとしているように思います。



# 4月の活動プログラム ピックアップ

4月は新年度のスタートです。この時期には、新しい先生、お友達、教室、時間割など、お子様を取り巻く環境が変わるため、不安定になるお子様が多く見受けられます。また、「にこる」を初めて利用される新1年生のお子様もいるため、活動プログラムは、心身共にストレスのかからないようなものになっております。「にこる」としても、療育を行う上で大切なのは、継続してご利用していただくことだと考えておりますので、お子様の状態に寄り添った支援を充実させるためでもあります。そして、現在「にこる」への登所の曜日がある程度固定されていますが、4月は生活リズムの変化する時期なので、いま一度、ご利用の曜日や日数を見直していただくためにも、現状の登所の曜日にとらわれることなく、選択していただければと思います。

なお春休み期間中は、予定している活動プログラムの他に、当日の天気次第で近くの公園で外遊びをするかもしれませんので、登所の際には、帽子・タオル・着替え等の準備をお願いいたします



## 4/5(金)「にこるのルールをつくろう♪」

みんなで過ごす「よつば・にこる」。ルールを自分たちでつくって、より楽しく過ごしましょう！というだけでなく、ルールをつくってみることで、「自分やお友達がどんな環境を望んでいるのか」を知ることができ、自分やお友達の考えを尊重することで、ルールを大切にできるのではないかと考えます。



## 4/8(月),16(火),24(水)「体のバランスを感じてみよう！」

「よつば・にこる」の「バランス」は「平衡感覚にアプローチをかける試み」のプログラムです。「平衡感覚」は、「目の動き」「姿勢」に関する回路と密接な関係にあると言われております。そして「目の動き」や「姿勢」は、学習(この場合の学習とは、教科学習に限らず、何かを身につけること等、学ぶこと全般を意味します)に大きく影響します。人は日々、何かしらの学習をしています。そういった意味では「生きること」は「学習を積み重ねること」と言ってもいいかもしれません。つまり「平衡感覚の育ち」が「学習の土台」になり、さらに「生きる土台」になるということです。ということで、月に3回、このプログラムを組むことになりました。

本当は毎日でも行いたいのが本音ですが・・・(笑)



## にこるのコラム —にこらむ—⑥

子育てをしていると、不安なこと、困ることがいっぱいあります。そんなときに周りの人に相談すると「気の持ちようだよ！」とアドバイスされて辛くなったり、育児書を読んでみたり、講演会に行ってみたりするのですが、「言いたいことはわかるけど、そうは言っても、そういう風にできない…」みたいに思ってしまうことがあります。そして、それができない自分を責めてしまったり…

たとえば『褒めましょう』って言われても、褒めるところが見つからないし、褒め方がわからない」という話を耳にしたことがあります。確かに「褒める」のは大切かもしれませんね。しかし、それがお母さん方の負担になってしまうのは違うような気がします。そこで今回は、なるべくお母さん方に負担のないような声かけについてのお話です。

お子さまの「自己肯定感」や「自尊感情」を損なわずに高める声かけというと小難しいですが、「お母さんは、あなたのことを見てるよ！」が伝わればいいのではないかと思います。

- ① お子さまが今している行動を言葉にしてあげる  
例) お子さまが絵を描いていたら、「絵を描いてるねえ」と声をかける
- ② お子さまの言葉をオウム返ししてあげる  
例) 「僕ね、ピーマンが嫌いなんだあ」に対して「ピーマンが？」と声をかける
- ③ ハイタッチや握手、いいねポーズをしてあげる

①②に関して言うと、褒めてはいないのですが、お子さまへ伝わるのはプラスの内容となります。それが②の例のような、お子さまのマイナスの話であっても、です。

この3つのすべてをやるもよし！できそうなのをやってみるもよし！やらないのもよし！です。ただ、これをやってみようとお子さまの行動を見たり、話を聞いていると、意外とイライラしなかったりもします。私はコレで怒る回数が格段に減りました。 ※あくまで個人の感想です(笑)

しかしながら、オウム返しを上手にやりすぎると、お子さまのお話が終わらなくなる可能性がありますので注意が必要です(笑)

放課後等デイサービス

# よっぱ・にこる

〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2  
メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129

お気軽にご連絡  
くださいますら~

